

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係】

		情報工学教育プログラム		
		専門性	創造性	倫理性
URGCC-Advanced学習教育目標		専門分野に関する高度な知識、技能、思考法を体系的に身に付ける。	知識、技能、思考を独創的・創造的に発展させ、活用することができる。	高度な倫理性を身に付けるとともに、社会的責任の熟慮を欠かさずことなく、主体的に行動することができる。
大学院教育プログラム学習教育目標	情報工学専攻では、情報工学の理論及び応用の教育・研究をとおして、学術の深化と科学技術の発展に寄与するとともに、高度な専門知識と技術を兼ね備え、社会に貢献できる人材の養成を目的とする。このような教育理念・目的を実現するために、次に示す「学習教育目標」を設定している。	○	○	○
	(A)情報工学分野の深い知識と応用力を身に付ける。 (B)広い視野と柔軟性をもち関連分野あるいは異分野を理解する能力を身に付ける。 (C)情報工学分野の課題設定を行い解決する能力を身に付ける。 (C1)情報工学分野の技術研究の状況を調査し、状況把握と課題設定ができる。 (C2)課題解決のための研究・実験計画の立案、実施、評価を行うことができる。 (D)コミュニケーション能力、リーダーシップ能力を身に付ける。	(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 「(A)情報工学分野の深い知識と応用力を身に付ける。」及び「(C)情報工学分野の課題設定を行い解決する能力を身に付ける。」によって、「専門性」に対応する。 「(C)情報工学分野の課題設定を行い解決する能力を身に付ける。」及び「(B)広い視野と柔軟性をもち関連分野あるいは異分野を理解する能力を身に付ける。」によって、「創造性」と「倫理性」に対応する。		